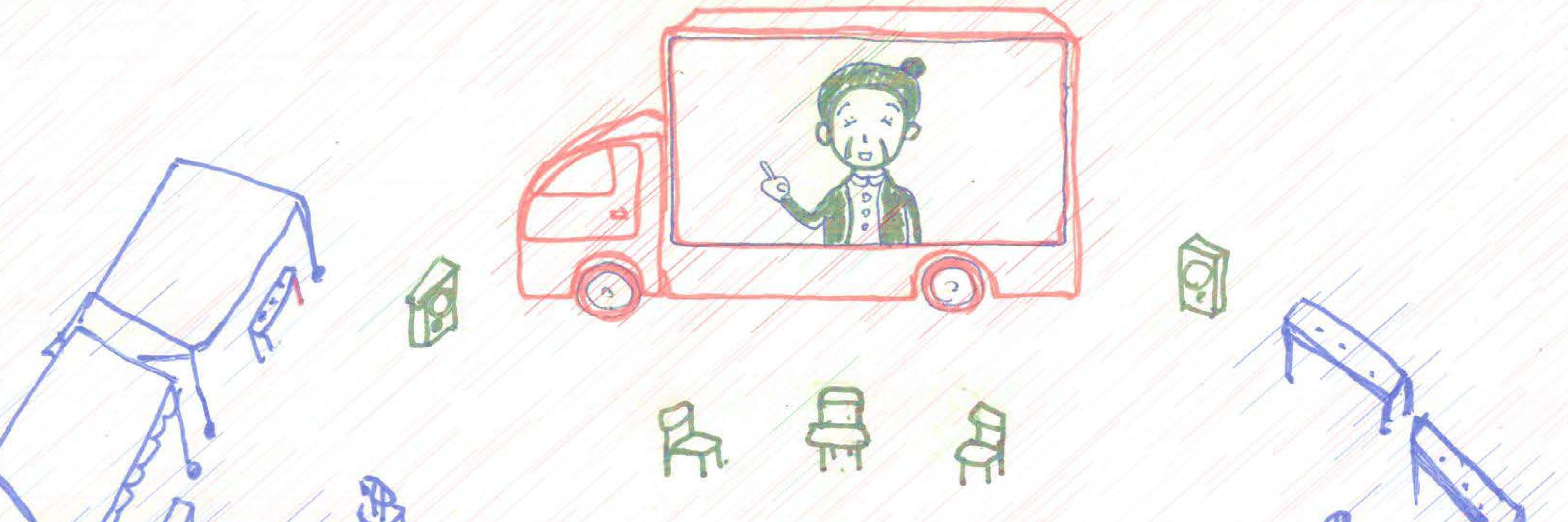


我らが

地域の

自慢話

わったーまちのあぐりむん



100人のヒーローを 作ります

ヒーローとは

地域の自慢話を言葉にのせて発信できる人

ヒーローの活躍により、地域を知り、地域を好きになります。ヒーローの活躍により、互いの地域を理解し合い、リスペクトし合い、将来的には地域住民全員がイキイキと過ごすことができるようになります。

100人インタビュー

多世代/多様/地域バランス

どんな内容?

人間性
地域への愛着
“言葉の力”
でイメージを

□場所・風景 □有名人
□食・老舗 □伝統文化

「自慢話100上映会」

- ◆日時: 令和2年某月某日
- ◆場所: 那覇市立壺屋小学校校庭
- ◆座席: 自由(懐かしの学校のイス)
- ◆参加費: 無料(那覇市の大型ビジョンカー登場)
- ◆プログラム
 - ①壺屋小学校区100人インタビュー上映会(30分2回)
 - ②壺屋・牧志・安里地域代表3人のクロストーク(15分2回)
 - ③おまけのコンテンツ
 - ・ソウルフード販売(懐かしのガリガリ〜)
 - ・アーカイブ映像・振り返りまちまーい(街歩き)
 - ・伝統芸能の共演(壺屋焼き・東一番旗頭・フェーヌシマ瓢箪踊り)

3人トーク

テーマにちなんで各地区から1人
映像の感想
要は、おしゃべり

相互理解
映像のふりかえり
オーディエンスの
気づき

発見: ××のそれいいね〜 そんなことやってたわけ〜? 知らなかったさ

発信: : 実はウチもこんなこと やってるよ〜

交流: : すごーい! こんど教えて!

尊敬: : いいよ。手伝うよ

共感: : あのTVのおばさん、 まだ元気だね〜 昔からあんなよね〜

アイデンティティの醸成

ごきげんヒュータンス (那覇市なは市民協働大学院中心市街地チーム)